

国際シンポジウム：デジタル社会における法的課題
International Symposium : Legal Challenges in a Digital Society -Part1
(第 26 回 同志社大学デジタル法制研究センター研究会)
(専修大学法学研究所協賛)

Doshisha University Research Center for Comparative Consumer Law and Policy in the Digital Society
(<https://www1.doshisha.ac.jp/~rc-clpds/index-e.html>)

In cooperation with Research Centre For Consumer Law (Forschungsstelle für Verbraucherrecht, FfV)
(<https://www.verbraucherrecht.uni-bayreuth.de/en/index.html>)

In cooperation with The Center for Legal and Political Studies, Senshu University
(<https://www.senshu-u.ac.jp/research/center/glaw/>)

協力：ドイツ民法研究会有志、ヨーロッパ消費者法研究会、ヨーロッパ契約法研究会

下記の通り研究会を開催いたします。ぜひご参加いただければ幸いです。

- ◆ 日時：2024 年 9 月 28 日（土） 16：00～18：15
Date and time : 16：00 -18：00 September280 (Sat.) , 2024.
- ◆ 会場：専修大学 神田キャンパス 10 号館 12 階 1012H 教室
Place: : Room 1012H, Building 10, Senshu University, Kanda Campus
(〒101-8425 東京千代田区神田神保町 3-8)
(Kanda Campus : 3-8, Kanda Jimbo-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-8425)
<https://www.senshu-u.ac.jp/access.html>
<https://www.senshu-u.ac.jp/about/campus/>

本シンポジウムは、上記会場を利用した対面及び Zoom を利用したオンラインでもご参加いただけます。
いずれの場合にも、9 月 23 日までにメールでお申し込みください。

申込先： 芦野訓和 メールアドレス：ashino@isc.senshu-u.ac.jp)

Zoom URL につきましては、お申し込みいただきました方にメールでお知らせします。

《内容 Programme》(敬称略)

司会： 芦野訓和 (専修大学教授・同志社大学デジタル法制研究センター研究員)

Chair : Prof. Norikazu Ashino (Senshu University, Research Center for Comparative Consumer Law and Policy in the Digital Society)

通訳：芦野訓和（専修大学教授）

Translator：Prof. Norikazu Ashino (Senshu University)

1) 研究報告 Lecture 16：00～17：00

「契約終了の際の消費者のデータ Verbraucherdatum bei Vertragsende」

マーティン・シュミット＝ケッセル（バイロイト大学教授）

Prof. Dr. Martin Schmidt-Kessel (University of Bayreuth)

2) 休憩 Break 17：00～17：15

3) コメント Comments 17：15～17：30

馬場圭太（関西大学教授）

Prof. Keita Baba (Kansai University)

4) 質疑応答 Discussion 17：30～18：15

事務局：

川和 功子（同志社大学・デジタル法制研究センター・センター長）E-mail: nkawawa@mail.doshisha.ac.jp

馬場 圭太（関西大学・デジタル法制研究センター・副センター長）E-mail: ktbaba@kansai-u.ac.jp

金子 啓子（国際経済連携推進 C 主任研究員・デジタル法制研究センター・事務局長）E-mail: kay4kan@fol.hiho.ne.jp

永岩 慧子（龍谷大学・デジタル法制研究センター・事務局長（国際））E-mail: : nagaiwa@law.ryukoku.ac.jp

*デジタル法制研究センターの運営は、同志社大学、デジタル取引に係る契約法及び消費者法の再構築に向けた比較法的研究（国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))：研究代表者・川和功子）、デジタル社会における多様化した消費者取引に対応した法制度についての比較法的研究（基盤研究(C):研究代表者・川和功子）、デジタル取引における消費者の脆弱性を踏まえた保護の在り方に関する比較法的研究（基盤研究(B):研究代表者・松本恒雄）の助成を受けています。